Ⅺ　市立博物館

1. 基本方針

博物館法の趣旨に基づき、「地域に根ざし、地域に学び、地域に奉仕する」ことを理念に社会教育機関としての使命を果たすため、1999（平成 11）年 6 月に開館した。

博物館事業については、歴史、民俗、考古、自然に関する資料を収集・保管し、教育的配慮のもとに市民の利用を積極的に推進するとともに、市民の皆様から寄贈していただいた貴重な資料の公開事業として各種の「企画展」や「講演会・野外見学会」などを開催している。また、学校との連携を推進して児童生徒の地域学習の場を提供し、博物館を起点に地域と学校とを結ぶ架け橋となる博物館運営を進めている。

2. 重点目標

博物館では、本市の歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展を開催する。また、生涯学習時代に対応するために地域と連携し、教育的需用に応える地域学習の場として博物館市民講座を開講する。あわせて学校との連携を推進し、児童・生徒の地域学習の場として、博物館での体験学習や展示資料を利用した授業の実施などの充実を図り、地域に愛着と誇りを持つ児童・生徒の育成に努める。

そして「地域に根ざし、地域に学び、地域に奉仕する」ことを目的として時代のニーズに合った「学校現場と地域団体の文化活動の拠点」となる市民参加型の博物館を目指す。

3. 施設の内容

○敷地面積：4,710 ㎡　　○建築面積：1,390 ㎡

○延床面積：1,999 ㎡［一階：1,281 ㎡、二階：311 ㎡、地下：394 ㎡、その他：13 ㎡］

名　称		主 な 利 用 内 容	面　積
展示部門	常設展示室	宜野湾市の歴史などの“あらまし”をいつでも学べる場所。	400 ㎡
	企画展示室	市の特色を知る期間限定の企画展や講演会等を行う場所。	130 ㎡
	展示準備室	企画展や講演会などの準備を行う場所。	23 ㎡
収蔵部門	大 収 蔵 庫	歴史・民俗・考古などに関する博物館資料を保管する場所。	192 ㎡
	特別収蔵庫	紙類や布類などの博物館資料を保管する場所。	48 ㎡
	収蔵庫前室	収蔵庫と特別収蔵庫への虫菌などの侵入を防止する場所。	15 ㎡
	くん蒸室	博物館資料の殺虫・殺菌の作業を行う場所。	18 ㎡
	地下倉庫	石製品や陶製品などの博物館資料を保管する場所。	394 ㎡
	1 階倉庫	博物館の行政文書や書類などを保管する場所。	12 ㎡
	2 階資料・倉庫	地図や写真などの博物館資料を保管する場所。	33 ㎡
	荷解・梱包室	博物館資料の出し入れ時の荷解や梱包などを行う場所。	51 ㎡
調査研究部門	図 書 室	沖縄や本市の歴史・文化に関する郷土関係図書の閲覧ができる。	99 ㎡
	研 究 室	博物館職員が調査研究や会議等を行う場所。 令和4年5月より一般貸出を開始。	77 ㎡
	修理工作室	博物館資料の修理、展示物等の製作などを行う場所。	49 ㎡
管理部門	事 務 室	博物館職員が日常業務を行う場所。	74 ㎡
	展示ロビー	綱引きで使用される旗頭、普天間旧道跡の一部、グッピーを展示している。	88 ㎡
	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ	来館者の休憩スペース、お知らせ等を掲示している。	36 ㎡
	守 衛 室	平成 28 年度から機械警備に変わり、清掃員の休憩室として使用する。	7 ㎡

4. 開館日・休館日

開館日と開館時間：平日、土・日曜日の午前 9 時～午後 5 時（最終入館は午後 4 時 30 分迄）
休館日：火曜日、祝祭日（慰霊の日、文化の日を除く）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
※その他、くん蒸による臨時休館日あり。

5. 観覧料

○ 平成 20 年 4 月 1 日から、“市民の方々に親しみのある地域学習の場”と、“市の文化的情報を県内外に広く発信”するために、観覧料が無料である。

○ 令和４年５月より、市立博物館２階研究室の一般貸出を行っている。
【使用料】

	室料（１時間につき）	冷房使用料（１時間につき）
市内の方	600 円	300 円
市外の方	780 円	

6. 博物館の収蔵資料

○ 博物館資料収蔵品総数：12,212 点（考古資料の大半は未集計）（令和6年 3 月 31 日現在登録数）

○ 図書資料総数：22,873 冊（平成 27 年 3 月 31 日現在登録数）

常設展示室：エントランス

常設展示室

展示ロビー

企画展示室

図書室

大収蔵庫

常設展示室リーフレット。市立博物館の常設展示室は、平成 29 年4月 22 日にリニューアルオープンした。宜野湾の自然・考古・歴史に関する最新情報を追加し、体験コーナーも充実している。

7. 令和6年度年間事業計画

博物館事業

目的		事業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
展示公開	展示会	企画展	博物館開館25周年記念企画展Ⅰ お金で世界を感じ展 ～翁長良明氏古銭収集70年間のあゆみ～ ロビー展示ツミの成長(5/18～6/9)		慰霊の日写真パネル展 沖縄戦の中の宜野湾	博物館開館25周年記念企画展Ⅱ みんなの進化展 -命はつながっている- in宜野湾	 ロビー展示 沖縄空手の伝播(8/1～9/9)		小・中学校連携展 ぎのわんの文化財図画作品展	開館25周年記念企画展Ⅲ 洞窟のナゾ展			地域との共同企画展 ぎのわんの字展 新天地を求めて ～屋取集落編 其之二～ (真栄原・佐真下)	
		[期間(予定)]	4/20～6/2		6/12～7/7	7/20～9/23			10/5～10/20	11/2～12/22			2/1～3/30	
	教育普及① 一般市民対象	博物館市民講座①(講演)	お金で世界を感じ展ギャラリートーク 翁長 良明	古銭収集70年間のあゆみ 翁長 良明	宜野湾の自然 千木良 芳範	みんなの進化展 菊川 章	沖縄の民俗習俗 ～沖縄の呪具～ 高江洲 敦子	沖縄空手の伝播 仲村 顕	沖縄の瓦 上原 静	宜野湾市の洞窟 ～自然・歴史・民俗～ 新垣 義夫	洞窟と人骨 山崎 真治	首里城再建 幸喜 淳	琉球王国と宜野湾 麻生 伸一	真栄原・佐真下の生活史 仲村 元惟
		[期日(予定)]	4/20	5/12	7/21	8/4	8/25	9/8	9/15	11/10	12/8	1/19	2/16	3/2
		博物館市民講座②(野外巡見)		リュウキュウツミの観察会 宮城 邦治・飯沼慶一	嘉数高台周辺の戦跡めぐり 平敷 兼哉				ぶらっと、博物館めぐり(名護市) 名護博物館職員				宜野湾市の古墓めぐり 長濱 健起	めぐてぃ！イガルーシマ 真栄原・佐真下 平敷 兼哉
		[期日(予定)]		6/8	6/30				10/20				2/9	3/9
	教育普及① 児童生徒対象	わらば～体験じゅく			開校式/見学・昔の道具体験 博物館職員	ウシのお世話をしてみよう！ 喜屋武盛信・宮城邦治	宜野湾の海とサンゴを知ろう 佐藤 太一	喜友名のシーサーめぐり 博物館職員	田イモの植付けに挑戦！ 宮城 徳彦	軽石・石灰岩を観察しよう 宇佐美 賢	漆の技法体験 宮島 さおり	山芋スープ 宮城邦治	葉脈スタンプづくり/閉校式 博物館職員	
		[期日(予定)]			6/15(館内)	7/27(野外)	8/24(野外)	9/14(野外)	10/26(野外)	11/16(館内)	12/21(館内)	1/18(野外)	2/15(館内)	
		子ども博物館教室、友の会展示解説会など	友の会 展示説明会①		友の会 展示説明会②		子ども博物館教室	漆喰シーサーをつくろう！ 比嘉 清順		友の会 展示説明会③			友の会 展示説明会④	
		[期日(予定)]	4/20		6/22		8/3、8/14、8/19	こ博(8/3)		11/2			2/8	
教育普及②	学校・地域等依頼	社会科見学	＊出前講座案内の告知(校長会・案内配布)	社会科見学：市内小・中学校の団体見学 等　出前講座の実施										
		総合学習等	総合学習、地域学習、グループ学習、修学旅行 等											
		職場体験学習	市内中学校／インターンシップ(高校・大学)											
		学芸員実習受入					8/7～8/19	展示公開・教育普及の活動が集中する時期に行う						
		図書室運営	図書室の配架整理が未着手のため不十分な状態であるが、利用は可能											
収集保管		博物館資料収集	(1)受入れ…随時(宜野湾関連を中心に)　＊収蔵用資料・体験教材用											
		博物館資料整理	(1)登録・保管…①学芸員実習時、②R6年2月以降、③収蔵資料の整理と撮影、デジタル化準備、(2)展示公開…常設展示(①大山貝塚資料、②宜野湾並松<松の根>)											
		博物館資料保管												
広報活動		博物館ネット刊行				ネット刊行			ネット刊行					ネット刊行
		[期日]				7/中			10/中					3/中
		市報ぎのわん「はくぶつかんの部屋」[年3回]				7月号				11月号				3月号
		博物館周知活動	4/始：学校等への年間事業計画送付	各種事業：市報掲載、マスコミ送信、ポスター・チラシ配布、ネット配信 等										
		[期日]	4/始(特に「文化財図画作品展」)	随　時										
調査研究		資料調査	学芸担当は個々でテーマを設定して調査研究を進める。											
普天間飛行場周辺まちづくり支援事業			沖縄平和祈念像原型関連資料整理(①資料登録方法の検討、②修復計画の検討)											
博物館協議会				定例教委委嘱議案	第1回(委嘱状交付)				第2回					第3回
沖縄県博物館協会関連(副会長館)				総会・春の研修会							秋の研修会			
友の会活動				①会員向け企画展解説会・②博物館事業サポート(田イモの植付け)										

市史編集

事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市史編集事業		市史5巻民俗編(解説編)	実施要項(事務局案)の作成・専門委員予定者との調整	①専門委員会の設置・委嘱状交付(6月)、②調査項目の検討、③関係者からの聞き取り調査及び資料収集(7月以降)、④地域行事等の現地調査(年間)										
		民俗解説編専門委員会			第1回(委嘱状交付)					第2回				第3回
歴史公文書等整理・活用事業		公文書整理・公開	①公文書整理・入力作業(年間)、②公開用文書の選定・個人情報の確認・マスキング処理・博物館HP公開、③レファレンス											
		廃棄文書確認				①文書の再選別・廃棄・廃棄分別作業(7月)、② 教育委員会文書の状況確認、収集計画								
		写真デジタル化業務委託	写真の選択		業者選定・委託契約	契約・受渡し・納品・検品確認(7～2月)								
		写真資料整理・公開	①デジタル化写真データ・原資料整理作業、②写真情報入力作業、公開可否選別、③博物館HP公開、④レファレンス											
市報ぎのわん「茶ぐぁーゆんたく」				5月号		7月号		9月号		11月号		1月号		3月号
市史編集委員会									第1回		定例教委委嘱議案			第2回(委嘱状交付)

8. 令和５年度の活動実績

(1) 自主運営活動 ～展示会・講座・教室等の開催～

【展示公開】

	企画展名	期 間	備 考
1	春の企画展 新収蔵品展－R3～R4年度受け入れ資料－	4／22～6／4	会期 34 日、来観者：847 名
2	慰霊の日写真パネル展 沖縄戦の中の宜野湾	6／17～7／9	会期：20 日、来館者数：1,348 名
3	夏の企画展 シン・紙ってるね！一枚折りの動物たち ～あの動物たちが帰ってきた！！～	7／22～9／24	会期：51 日、来館者数：3,434 名
4	小中学校連携展 第 31 回ぎのわんの文化財図画作品展	9／30～10／15	会期：18 日、応募点数：128 点 来館者数：612 名
5	秋の企画展 縄文時代の宜野湾	10／25～12／24	会期：52 日、来館者数：1,661 名
6	文化課企画展 👀はっけ～ん☆ぎのわんに眠る遺跡たち －発掘調査速報展 R1～R5－	1／13～1／28	会期：14 日、来館者数：472 名
7	地域との共同企画展 ぎのわんの“字”展 新天地を求めて～屋取集落編 其之一～ （上原・中原・赤道・愛知・長田・志真志）	2／10～3／24	会期：36 日、来館者数：1,030 名
企画展への総来館者数			9,404 名

【博物館市民講座】

○ 目的：市内外を問わず受講者に宜野湾市の自然や歴史、文化に親しむ地域学習の場を提供する。
（定員：室内講座 25～50 名、野外講座 15～25 名）

	講 座 名	開 催 日	講師名及び参加人数
1	大山の自然観察	6／18（野外）	千木良 芳範（宜野湾市立博物館 元館長）、 受講者：19 名
2	御願の道具と供えもの	7／23（講演）	稲福 政斉（沖縄国際大学・沖縄大学 非常勤講師）、 受講者：28 名（オンライン：3名）
3	デモンストレーション① 一枚折りの技	8／6（講演）	渡邊 慧（折り紙作家）、受講者：35 名
4	デモンストレーション② 一枚折りの技	8／20（講演）	渡邊 慧（折り紙作家）、受講者：42 名
5	宜野湾の海の魅力	9／10（講演）	佐藤 太一（宜野湾マリン支援センター センター長）、 受講者：14 名（オンライン：2名）
6	山田真山の足跡を訪ねて	10／1（野外）	平敷 兼哉（宜野湾市立博物館 館長）、受講者：12 名
7	ぶらっと、博物館めぐり ～あまわりパーク～	10／22（野外）	横尾 昌樹（うるま市教育委員会文化財課 グスク整備係長）、受講者：39 名
8	紅型体験 エコバックづくり	10／29（講演）	安里紅型工房、受講者：13 名
9	縄文時代前期の土器の話	11／12（講演）	横尾 昌樹（うるま市教育委員会文化財課 グスク整備係長）、受講者：38 名（オンライン：2名）
10	『錫』で豆皿づくり	11／26（講演）	上原 俊展（金細工まつ）、受講者：12 名
11	縄文時代後期の土器の話	12／3（講演）	亀島 慎吾（沖縄県教育庁文化財課 主任専門員）、 受講者：33 名（オンライン：4名）
12	宜野湾の遺跡めぐり	12／17（野外）	長濱 健起（宜野湾市立博物館 係長）、受講者：24 名
13	発掘調査から見えてくること	1／21（講演）	伊藤 圭（宜野湾市教育委員会文化課 文化財保護担当主査）、受講者：21 名（オンライン：3名）
14	民話の地を訪ねて	1／28（野外）	平敷 兼哉（宜野湾市立博物館 館長）、受講者：25 名
15	屋取の話	3／3（講演）	鈴木 悠（那覇市歴史博物館 主任学芸員）、 受講者：39 名（オンライン：3名）
総受講者数			394 名（オンライン：17 名）

【わらば～体験じゅく】

○ 目的:市内在住小学校5、6年生 30 名を対象に、普段はあまり関わる事の少ない市内の自然や文化などを 1 年間通して学ぶことを目的とする。また、他校や異学年との交流を図ることで協調性や友情を育むとともに、講師の博物館職員や地域の先輩方との交流も図る。

	講 座 名	開 催 日	講師名及び参加人数
1	開校式、博物館見学と昔の道具体験	6／17(館内)	博物館職員、 参加人数:24 名
2	宜野湾の海とサンゴを知ろう☆	7／22(野外)	佐藤 太一(宜野湾マリン支援センター センター長)、参加人数:28 名
3	漆喰シーサーをつくろう！	8／19(館内)	比嘉 清順(和仁屋しっくいシーサー振興会 会長)、参加人数:27 名
4	田イモの植付けに挑戦！	10／21(野外)	宮城 徳彦(田イモ農家)、 参加人数:19 名
5	喜友名のシーサーめぐり	11／11(野外)	博物館職員、 参加人数:11 名
6	軽石と宜野湾の石のヒミツを探せ☆	11／25(館内)	宇佐美 賢(沖縄県立博物館・美術館 博物館班長)、参加人数:16 名
7	漆の技法体験	12／9(館内)	宮島 さおり(NPO 法人 ART LINK 理事長)、参加人数:17 名
8	ウシのお世話をしてみよう！	1／20(野外)	宮城 邦治(沖縄国際大学 名誉教授)、喜屋武 盛信(闘牛飼育者)、 参加人数:15 名
9	ゆし豆腐づくり、閉校式	2／17(館内)	博物館職員、 参加人数:19 名
総受講者数			176 名

【こども博物館教室】

○ 目的:児童・生徒の学習の場としての博物館活動の充実を図り、また夏休みの自由研究のサポートを目的に、夏休み学習支援教室の「こども博物館教室」を開催。

	講 座 名	開 催 日	講師名及び参加人数
1	くずし字スタンプを作ろう！	7／28(館内)	博物館職員、 参加人数:20 名
2	クモの巣標本づくり(クモのヒミツ)	8／10(野外)	千木良 芳範(宜野湾市立博物館 元館長)、博物館職員、 参加人数:21 名
3	野嵩に残る戦跡めぐり	8／17(野外)	博物館職員、 参加人数:6名
総受講者数			47 名

【博物館友の会】

○ 概要:市立博物館活動の事業に積極的に参加、協力し、併せて会員相互の教養を高め、親睦を図ることを目的に平成 23 年に結成。会員数 99 名(令和6年3月現在)。

	事業内容	備 考
1	総会	新型コロナウイルスの感染拡大のため開催を中止し、運営委員による書面確認を行った。
2	会員向け企画展の展示解説会 (年5回)	博物館職員による企画展の展示解説。(①「新収蔵品展」:4/22、②「沖縄戦の中の宜野湾展」:6/24、③「縄文時代の宜野湾」:10/28、④「発掘調査速報展」:1/13、⑤「ぎのわんの"字"展－屋取集落編Ⅰ－」:2/24)
3	サークル活動	・博物館事業の支援活動 (田イモの植付け:10/21)

(2) 社会科見学・総合学習・出前講座・学芸員実習・職場体験学習（インターンシップ）

【社会科見学・総合学習】

（単位・人）

見 学 日 時	学 校 名	学年	児童・生徒数（引率含む）
令和5年　5月 15 日（月）	陽明高校	—	8
5月 17 日（水）	桑江中学校	特支	9
5月 24 日（水）	宜野湾高校	—	22
5月 24 日（水）	陽明高校	—	20
6月5日（月）	陽明高校	—	26
6月8日（木）	真和志高校	—	5
6月 19 日（月）	志真志小学校	6	132
6月 22 日（木）	普天間中学校	1	166
6月 26 日（月）	真和志高校	—	29
9月1日（金）	嘉数中学校	1	285
9月 13 日（水）	豊見城小学校	3	112
9月 20 日（水）	宜野湾小学校	3	131
9月 21 日（木）	はごろも小学校	3	146
9月 28 日（木）	船越小学校	3	75
10 月5日（木）	中城小学校	3	74
10 月 27 日（金）	津覇小学校	3	56
11 月6日（月）	大謝名小学校	3	94
12 月1日（金）	普天間第二小学校	3	102
12 月7日（木）	同朋高校	—	42
12 月8日（金）	普天間中学校	特支	15
12 月8日（金）	同朋高校	—	37
12 月9日（土）	同朋高校	—	35
令和6年　1月 19 日（金）	北中城小学校	3	142
3月 13 日（水）	沖縄カトリック小学校	3	113
合　計		—	1,876

【出前講座】

（単位・人）

出 前 日 時	学 校 名	学年	児童・生徒数（引率者含む）
令和5年　6月9日(金)	中部商業高校	全	624
6月9日(金)	宜野湾中学校①	全	700
6月 16 日(金)	北中城高校	全	821
6月 21 日(水)	嘉数小学校①	3	99
6月 26 日(月)	嘉数小学校②	3	70
9月1日(金)	嘉数中学校	1	285
9月 21 日(木)	宜野湾小学校	3	132
10 月 26 日(木)	沖縄国際大学 山川ゼミ	1	19
12 月6日(水)	普天間第二小学校①	3	99
12 月 12 日(火)	宜野湾中学校②	3	36
12 月 12 日(火)	東大阪市立高井田中学校	3	108
令和6年　1月 18 日(木)	普天間第二小学校②	3	96
1月 26 日(金)	長田小学校	3	124
1月 31 日(水)	嘉数小学校③	3	169
2月7日(水)	大山小学校	3	99
2月9日(金)	志真志小学校	3	141
2月 15 日(木)	普天間小学校	3	43
3月6日(水)	嘉数小学校④	3	169
合 計		—	3,834

【学芸員実習】

（単位・人）

学 習 ・ 実 習 期 間	学校名(学年)	実習生数
8月7日(月)～8月 21 日(月) 12 日間	琉球大学・沖縄国際大学・大阪国際大学(4年生)、沖縄県立芸術大学・(3年生)	4(男:0・女:4)

【職場体験・インターンシップ】

学 習 ・ 実 習 期 間	学校名(学年)	人数
令和5年　11 月 20(月)、22 日(水) 2日間	宜野湾中学校(1年生)	4(男:3・女:1)
令和6年　1月 29 日(月)、31 日(水) 2日間	真志喜中学校(1年生)	4(男:4・女:0)

【教職 10 年経験者研修】

研 修 期 間	学 校 名	人数
7月 27 日(木)～7月 28 日(金) 2日間	長田小学校	1(男:1・女:0)
8月 16 日(水)～8月 18 日(金) 3日間	宜野湾高校、開邦高校	2(男:2・女:0)

(3) 令和5年度の利用者数

令和6年3月 31 日（単位：人）

月		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
常設展示室	大人	443	416	654	685	580	498	451	516	394	391	429	447	5,904
	学生	11	80	136	31	22	31	52	60	104	22	17	28	594
	児童	75	59	239	325	365	564	221	138	202	185	32	151	2,556
	幼児	24	28	100	116	195	109	26	40	54	31	48	23	794
	小計	553	583	1,129	1,157	1,162	1,202	750	754	754	629	526	649	9,848
企画展示室		423	578	1,182	1,040	1,374	1,357	776	788	644	472	404	626	9,664
講演会・出前講座等		52		2,357	96	108	543	102	77	317	450	302	208	4,612
図書室		3	5	7	12	7	11	3	8	7	7	4	2	76
研究室		59	122	81	65	144	205	221	131	189	150	219	184	1,770
総計		1,090	1,288	4,756	2,370	2,795	3,318	1,852	1,758	1,911	1,708	1,455	1,668	25,970

■補足：地域団体支援：学童クラブや自治会、デイサービス等の団体見学の内訳は、56 団体、1,070 名。

9. 宜野湾市立博物館の運営に関する基本的方針

（平成 24 年 4 月 4 日教育委員会議決）

一 基本理念	1. 趣旨・目的	【趣　旨】 宜野湾市立博物館の運営について、これまでの博物館の基本的な考え方や事業・活動などを踏まえ、開館後の新たな時代の要請に応える役割と機能を再構築した「博物館づくり」を目指して、今後に計画する博物館事業・活動の「基本的方針」を策定する。 【目　的】 ① 市民のアイデンティティ創出の場となる博物館 宜野湾市の自然・歴史・文化に対する知識と理解を深め、もって市民文化の向上発展に寄与し、「市民のアイデンティティ創出の場」となる博物館を目的とする。
		② 市の歴史・文化遺産を保存し、継承していく博物館 宜野湾市の歴史や文化を伝える歴史・文化遺産を市民の地域学習に供し、これら「市の歴史・文化遺産を保存し、継承」していく博物館を目的とする。
	2. 基本的な考え方（基本的な性格と機能）	◎宜野湾市の歴史と文化を学ぶ市民学習の場！ →市民の文化活動の拠点づくり！ 宜野湾市の考古、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学などに関する資料を収集・保管、展示・公開して、教育的配慮のもとに市民の利用に供するとともに、これに関連する調査・研究及び教育・普及活動を行う。
	3. 基本目標	①市民に親しみとやさしさのある地域学習の場！ →市民の文化交流の空間（施設）づくり！ 生涯学習時代に対応するために、市立博物館の施設が地域と密接に関連し、市民に積極的に利用され、地域社会の共同施設として捉え、多様に増大してきた教育的需要に応えて、地域コミュニティー施設または生涯学習の拠点となるとともに、地域に開かれた「市民に親しみのある地域学習の場」となる博物館を目標にする。また、子供、高齢者、身障者が「安心して利用できるやさしい博物館」を目標とする。
		②児童・生徒に分りやすい地域学習の場！ →学校との連携づくり！ 学校教育との関連においては、児童・生徒が地域に対する愛着と誇りを育むために、「児童・生徒に分りやすい地域学習の場」となる博物館を目標とする。
		③. 森川公園と一体になった博物館！ →博物館の環境づくり！ 森川公園の水と緑の環境をいかした、宜野湾市のシンボル性の高い博物館を目標とする。
		④. 宜野湾市の自然・歴史・文化の情報発信の場！ →市民参画、リピーターづくり！ 高度情報化及び国際化時代に対応するために、県内、国内のみならず、海外からの来館者のニーズに応えられる、「宜野湾市の自然・歴史・文化の最新の情報発信の場」となる博物館づくりを目標とする。
二 基本方針	1. 基本方針	【基本方針】◎先人の生活の知恵と工夫を知る市民参画の場！ ○ 調査・研究、収集・保管、展示・公開などの博物館活動を通して、宜野湾市の持つ地域的特色の中で育まれてきた自然、歴史、文化に対する知識と理解を深める。また、講演会、学習会などの博物館のさまざまな教育・普及活動を通して、市民とともに地域の歴史・文化遺産を探求し、知の楽しみを市民と博物館の双方で分かち合える、活動性の高い博物館づくりに努める。
		① 市民の自発的な地域学習と文化交流の場！ 市民が気軽に参加でき、子供、高齢者、身障者共々に交流しあえる、地域学習と文化交流の拠点となる博物館づくりに努める。
		② 児童・生徒が見て、触れて、体感できる博物館づくり！ 児童・生徒が見て、触れて、体感できる展示資料や楽しみながら学べる場を設け、学校のカリキュラム

二 基本方針	1. 基本方針	と連動した教育・普及活動を充実させる。さらに、学校での移動博物館や出前教室などの課外活動を積極的に推進する。
		③ 森川公園の水と緑の環境をいかした博物館づくり！ 森川公園の環境をいかした博物館づくりに努めるとともに、羽衣伝説の地「森の川」や、公園内の豊かな自然地形・動植物などを活用した自然観察会や民具づくりなど、地域に根ざした体験学習などの教育・普及活動の充実に努める。
		④市民ニーズの変化や学芸員の調査・研究などの進展に応じて、成長する博物館づくり！ 市民ニーズの変化や学芸員の調査・研究などの進展に応じて、博物館活動が成長していく博物館づくりに努める。
	2. 基本方針の体系図	＝体系図＝ ①市民の地域学習と文化交流の場 ②児童・生徒が分かりやすい地域学習の場 地 域 学 校 宜野湾市立博物館 調査・研究 収集・保管 展示・公開 教育・普及 施設管理 《先人の生活の知恵と工夫を知る市民参画による文化活動の場》 環 境 情 報 ③森川公園の水と緑の環境、羽衣伝説の活用 ④最新の宜野湾市の自然・歴史・文化情報の発信 【新しい博物館づくりの実施】
	3. 活動方針	① 市立博物館開館以降の常設展示室の固定的な展示を見直し、常に新鮮さと弾力性を失うことのない展示を実現するために、「常設展示室のリニューアル」に努める。
		② 市民と児童・生徒の教育・普及活動の場、学校現場と地域団体の文化活動の拠点となる「体験学習施設」の充実に努める。
三 分野別活動方針	1. 調査・研究	① 博物館資料に関連し、市内に所在する自然環境、歴史・文化遺産、文献資料、伝承資料などの専門的、技術的な調査研究を推進する。
		② 資料の保管及び展示等に関連する市内外に所在する自然環境、歴史・文化遺産、文献資料、伝承資料などの専門的、技術的な調査研究を推進する。
		③ 調査研究の成果が、常設展示室の内容を深めるとともに、市の歴史・文化・自然的特色を活かした独創的で自主的な企画展の開催に繋がるように努める。
		④ 調査研究の成果を積極的に公開し、一般市民と児童・生徒の地域学習教材に活かされ、市民の「アイデンティティの創出」に繋がるように努める。
	2. 収集	① 市の土地に由来し、市民の生活に来歴のある資料と、それらに関連する資料の収集に努める。収集にあたっては、市の歴史的変遷、時代的特色、地域的特色を示す資料の調査研究を推進し、収集に努める。

三 分野別活動方針	・保管（保存・修理）	② 収集された資料は、市民の文化創造の源としての価値を認識し「文化財」として取り扱い、必要に応じて保存処置や修理を施し、常に安全で安定した環境のもとでの恒久的な保存に努める。
		③ 収集・保管された資料は、データベースを整備し、デジタル化することによって資料の円滑で幅広い利活用を促進する。
		④ 沖縄戦と基地接収で流出した在外の歴史・文化遺産の調査を推進し、収集に努める。
	3. 展示公開	① 常設展示室の固定的な展示を見直し、常に新鮮さと弾力性を失うことのない展示に努める。また、資料を五感で体感できる手法や、屋外における自然展示や敷地周辺のフィールドの恒常的な活用なども検討し、市民の地域学習と学校教育等に幅広く活用できる取り組みを推進する。
		② 市の歴史・文化・自然的特色を活かした独創的で自主的な企画展の開催に努める。そのことにより、展示内容に関心のある新たな来館者や、新鮮味を求める再度の来館者の増員に努める。
		③ 学術的に裏づけられた正確な資料と情報に基づいて展示を行う。利用者の理解を深め、利便を図るために、映像・音声・情報機器などの視聴覚機器を効果的に配備することによって、観覧者に展示の意図を分かりやすく伝える。
	4. 教育・普及（学習支援）	<u>学校教育の支援</u> ① 学校教育との連携により、総合学習・社会科見学・職場体験学習・出前授業などの学校教育活動に対して学習課程に対応した支援活動を行い、子どもたちの育成に役立つ博物館を目指す。
		② また、博物館活動と学校教育とが各々目指す方針の接点を整理し、相互に協働して授業メニューを作成したり、調査・研究活動を行ったり、展示室を開放した企画展を開催するなど、学校との連携活動を通して「博学協働体制」の確立を目指す。
		<u>市民への教育普及</u> ① 市民が主体的に学び、自己実現を果たすことができる生涯学習の拠点となるために、学習支援の観点から、誰もが気軽に訪れ、交流する中で、楽しく学ぶことができる多様な学習機会を提供する。
		② また、図書館や公民館など、他の社会教育施設との連携を強化し、移動展示会を開催するなど、社会人や高齢者といった大人に向けた学習情報や学習機会の提供を積極的に図る。
	5. その他	① 市民参画：博物館活動の「市民参画」に向けて、一般市民と児童・生徒の自主的な「博物館友の会」との連携に努め、市民の意見を博物館の運営に反映する仕組みを整える。
		② 他館連携：県内各市町村及び民間文化施設等との連携を図り、文化施設や催し、情報及び歴史・文化遺産や各地の伝統行事・祭事日程等、県内の文化に関する幅広い情報を提供・発信できる文化情報サービス機能の整備を図る。
		③ 広報活動：博物館活動の現況に関する報告、事業計画の予告、調査研究や資料収集・情報収集に関する報告などを、各種出版物、新聞紙面、インターネットなど様々な手段によって広く市民に向け周知していくことに努める。
		④ 施設管理：来観者の“快適で安全な”博物館利用を推進する。